

第 1 回愛知目標達成のための侵略的外来種リスト作成に向けた
 魚類ワーキンググループ会合（平成 26 年 2 月 13 日開催）
 においての特に検討が必要な意見と対応案

意見	事務局見解（対応案）	対応状況
<p><侵略性の評価について></p> <p>・「分布拡大・拡散の可能性」で「①繁殖力」とあるが、繁殖力とは、ある場所で他の種と置き換わったり他の種を駆逐したりするという意味で使われることが多い、ここでは広がり方を示していることから、「分散能力」が正しいのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり修正した。</p>	<p>資料 8、 9-1、 9-2</p>
<p><対策優先種について></p> <p>社会的経済的な観点から特定外来生物にはできないが、対策優先種として対策していくことが重要なものもあり、産業利用のグループに入れているものも対策優先種にすることを考えてもよいのではないか。</p>	<p>特に重点を置くべき対応の性質により、大きく「対策が必要な外来種」と「適切な管理が必要な産業上重要な外来種（産業管理外来種）」に区分し、前者の中に対策優先種を設けることとし、整理した。産業管理外来種は対策優先種とは重複しないことで整理をし、適切な管理の徹底について呼びかけることとするが、これらの種についても自然環境下に逸出し、生態系等に被害を及ぼしている場合には対策が必要となりうることもあわせて呼びかけることとしたい。</p>	<p>資料 7-1、7-3</p>